

Q5 あなたにとって「子育てしやすい社会」とはどんな社会だと思いますか？

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
子育てにはお金がかかるので余裕のある暮らしをするため共働きで働いてる夫婦も多いと思いますがそうすると今度は時間に余裕がなくなります。 お金もしっかり稼げて時間の融通も効く仕事があれば子育てもしやすいだろうと思う。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
安心して子供を育てられる社会 (経済面だけでなく子供が関わる犯罪や事件、事故の心配が減ってほしい)	ママ	30代	2人	0～2歳	育休中
虐げられることもなく子供がのびのびして親も肩身の狭い思いをしなくてもよくなる社会	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている (パート・アルバイト)
子育て世帯だけでなく、高齢者も独身の方も障がいのある方も全ての方が暮らしやすい社会だと思います。 その為には高すぎる税金を下げる必要があります。 税金の無駄遣いをやめてほしいです。 また、子どもには今扶養控除がありません。 成人した働いていない大人を扶養しても控除があるのにおかしいと思います。 そして子育てにかかる教育費をかからなくするようにしたら良いと思います。	ママ	30代	1人	3～5歳	専業主婦 (夫)
孤独にならない場所 乳幼児のおむつは支給 育休中の生活支援	ママ	30代	3人	妊娠中 小学生	働いている (パート・アルバイト)
安心できる仲間人と繋がり みんなで子育てできること	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	専業主婦 (夫)
産むときだけ支援してくれても結局どこかでしわ寄せがくる現実。 学童が6年生まで入れるとなっているが実際は3年生までしか入れないという現実。 学校によって入れるところもあると思うが大体が3年生までであること。 それらが解消されたら少しは子育てしやすくなると思います。	ママ	40代	3人	小学生	働いている (フルタイム)
女性が働かない社会、昭和のような社会。	ママ	40代	1人	3～5歳	働いている (パート・アルバイト)
子育て 119 がある社会 Instagram で広まっています。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている (自営・フリーランス)

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
車がなくても近くに遊び場があって、短時間でも働けるところがすぐ見つかって急な休みにも理解ある職場があること。医療費や教育費が無償化など負担が減ると助かると思う。	ママ	30代	2人	0～2歳 小学生	専業主婦 (夫)
お金の心配がない経済状況。子育ての困り事はお金があれば解決できると思う。行政サービスも充実しているので、自分からアクセスできる力があれば子育てしやすい。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
一人の人間として、扱える場がある事	祖母	50代以上	2人	3～5歳 小学生	働いている（フルタイム）
独身貴族が大きな顔をしない社会 不安を必要以上に煽らない社会	パパ	40代	2人	0～2歳 小学生	働いている（フルタイム）
浜松市は子供の遊び場や制度などは充実している方だと思う。 問題は男性の考え方。結局女、妻が家のことをするべきだと言う概念が心の底で幼少期から刷り込まれていることが原因。	ママ	30代	2人	0～2歳	育休中
子どもをお腹の中で育てる過程で生じる心身への問題、産む際に生じる心身への問題、産んだ後すぐ生じる心身への問題を理解している社会。 オムツなど消耗品の無償配布化	ママ	30代	1人	妊娠中	働いている (パート・アルバイト)
家庭と仕事を両立できる社会。お金のために働かないといけませんが、そうする事で保育園の値段は上がり、子どもとの時間も減ってしまうので何とかして欲しい。	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中
子育て施設、環境を自由に選べる社会。我が家は幼稚園 10 園以上いっぱいに入れないと断られました。	ママ	30代	2人	3～5歳 小学生	その他
「みんなで繋がる社会」である。私は夫が転勤族なので子供を産んだ時は友人が 1 人もいない、実家もない土地での出産だった。事情があり里帰りできなかった為、育休を 3 ヶ月取得してくれた夫と 2 人っきりで育てた。幸い夫の会社の理解があり長期間育休を取れた為、その間はなんとか初めての育児に協力しながら向き合った。しかし、夫の育休終了後に赤ちゃんが 2 人っきりの日中がかなり辛く涙する日々だった。そんな時、産後ケアの助産師訪問を利用し助産師さんの言葉に救われた。1 人っきりで抱え込むより誰かと交流する大切さを知ってからは支援センターなどに通い、ママ友ができ悩みを共有することで育児に楽しさを感じることができるようになった。1 人っきり又は家族だけで育てるのは限界があるなと思う。周りとの繋がることで、自分の視野が広がったり、気分転換になったり私は前向きに赤ちゃんに向きあえるようになった。つながる場がどんどん増えて、すべての子育てしている人が子供に毎日笑顔を向けられるようなそんな社会になってほしい。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
子連れの人に対して優しくしたり、 お金の面でも年少扶養控除を戻してほしいです。	ママ	30代	2人	3～5歳 小学生	働いている (パート・アルバイト)
お金の支援が多く、子どもの遊び場が多い。男女ともに働きやすく、家族との時間が確保できる。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている(フルタイム)
子育て世帯の税金が安い。 出かけてもおむつ替えの場所がすぐに見つかる。等	パパ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている(フルタイム)
母親だけで育児家事をしていない。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている (パート・アルバイト)
子供に優しい社会。	ママ	40代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
子どもは社会全体で育てるものであり、今後の国を支える一番貴重な存在であることを国民全員が理解している社会。	パパ	20代以下	2人	0～2歳	育休中
周りの人が子供に優しい社会。以前海外に住んでいたが、妊娠しているだけでも皆さんかなり優しく(マタニティマークなどは存在しない)、ベビーカーや優先座席の問題などは全く無かった。全体として子供が好き・大事といった風潮で、子連れで行った別の国も同様の対応。日本は子供に対して厳しすぎるので、帰国してから謝ってばかりで子育てがしづらく感じる。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
お金に不安のない社会。 子どもがのびのびと過ごせる社会。 全員に子どもを見守れとは言わないが、少しでも子どもに優しい目を向けてもらえるような社会であってほしい。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
税金負担の軽い、子育てにお金が掛からない社会	パパ	20代以下	2人	妊娠中 0～2歳	働いている(フルタイム)
最低限の教育費がかからない。	ママ	30代	2人	妊娠中 0～2歳	育休中
やはりまず金銭的余裕がないと、心の余裕ができない。 それから、保育園も保護者もナーバスになり過ぎている。互いに皆が寄り添い合って、子育てって大変だけど楽しい!と思える環境が必要。	ママ	40代	2人	中学生	働いている (パート・アルバイト)

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
<p>子育てしやすい社会というと、よく共働きしやすい社会にするべきという話を聞きますが、私はそうは思いません。夫か妻、どちらか一方の給与で十分に生活できる社会を目指すべきかと思います。</p> <p>周りを見てみると、夫の可所得分だけでは生活が不安という理由からパートかフルタイムで働く妻が多いです。みんなもつとゆったりとした気持ちで子育てしたいと思っていますし、せめて子育て中は経済的な不安を感じたくないと言っています。でも無理なのです。</p> <p>例えば年収が400万円の夫がいても月に使えるお金は25万円ほどです。妻は働きたいから働くではなく、働かないと生きていけないから働きます。選択の自由があるように見えて無いのです。また、働きたいと思っても保育園に預けないといけない。預ければ年収に応じた保育料を納めなければならない。パートで働いていればパート給与の半分以上は保育料に消えるといった話も本当によく聞きます。</p> <p>仕事に子育てに家事にと頑張っていればどうしてもイライラしたり、自分の時間が取れず、余裕のない人間になります。余裕のない人間が子供にイライラをぶつけている最悪のケースが虐待ですよ。暴力やネグレクトって大きな事案にならないだけで、案外潜んでいるんだらうなと想像してしまいます。だって自分の時間すらまともに取れないですから。子供と目を合わせずスマホをいじっている親なんてよく見ますね。</p> <p>これらすべてのことを子供をもし産む前に知っていたら私は子供を産まない選択をしていたかもしれません。今の社会は産み損です。子育ては罰ゲームですか？</p> <p>一方の給与だけで十分に生活でき、ゆとりをもった子育てができる社会が来ることを望みます。</p>	ママ	30代	0人	3～5歳	働いている (パート・アルバイト)
不安なく過ごせる社会	ママ	40代	3人	妊娠中 中学生 高校生	専業主婦 (夫)
「子どもはうさいのが当たり前、自分もかつて子どもの頃はそうだった」というような、子どもに対して寛容な雰囲気のある社会	ママ	30代	3人	妊娠中 0～2歳 小学生	働いている(フルタイム)
様々な立場、考え方の人を受け入れる文化と土壌のある社会	ママ	40代	1人	0～2歳	働いている(フルタイム)
みんなで子育てをする町を作って欲しい。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
子どもにやさしく寛容で、財政的に不安なく育児でき、男女関係なくキャリアを積み、余裕をもって育児でき、子供がいない人もいる人も協力し合える社会。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている (自営・フリーランス)

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
お金の心配がないこと 仕事復帰のときに希望する園に絶対に入れること 父親の育児休暇取得を上司から反対されないこと	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	育休中
国民の大半が子供に寛容になってくれればとおもう。 ある程度子供が騒いでも「まあ子供だから」と思える心の余裕を多くの人 が持てたならもう少し外出もしやすくなる気がする。 或いは、子連れ専用車両や子連れ禁止の車両などを用意してもらえた なら気持ちが楽になり外出も楽しくなるのではと考える。 また、広く手入れされた公園が増えるべきだとおもう。公園は子供だけ のものではなく、犬の散歩をする人やお年寄りも寄る場所。譲り合って利用 できる整備された公園があると大変助かる。 浜松にはとくに、歩道が少ないように感じる。子供を連れて道路を歩くの はとても勇気がいることだし、警戒はいくらしても足りない。子供が安心せ て歩ける歩道を切に所望する。少なくとも、通学路はきちんとした歩道 を用意してほしい。近所に住む子供の通学を見るに、とてもハラハラしてし まうし、それが自分の子供だったなら出来る限りは歩かせたくないの で。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
子供の将来暮らしていく国に対して不安を持たなくてもいい社会。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
いじめや事件、事故のない社会。教育現場や習い事での性被害は特に 許せません。	ママ	30代	2人	妊娠中 3～5歳	働いている（フ ルタイム）
子連れ側も子どもがいない側も権利を振りかざすことなく、お互いに思い やりを持って生活できる社会だと思う。 子育てしやすい環境だからといって子どもを産みたいとは思わない。 産んでいざ育てる時に住んでいる市町村が子育てしにくい環境だったら 引っ越しや予定の子どもの人数を減らすことを考える。	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中
保育施設の充実。 男女ともに育休中の金銭的支援の充実。 子育てに必要な情報を見聞きしやすい環境。	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中
男は稼ぐべき、女は子を躱すべき、子供は勉強すべき、親は8時に寝か せるべき、などの概念を疑い、取払い、家族ごとの子育てが尊重される 社会。	ママ	30代	2人	3～5歳 小学生	働いている (自営・フリー ランス)
子育てに関わる家庭が増えれば、子育てに対する理解が深まると思う。 今の日本では子育てをする家庭が今後減っていく見込みで、どんどん子 育てに対して距離を感じる人が増えていくと思う。結婚しない、子供を産 まない1番の引っ掛かりはお金の問題だと思う。独身でも毎日ギリギリと いう友達が周りには多い。「いつかは結婚したいけど、今はとても想像でき ない」と言ったまま結婚しない人が増え続けるのだと思う。今すぐ結婚、子	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
供ができて心配ないくらいの補助があればかなりハードルは下がるのかなと思う。					
女性・母親が、サービスやサポートを受けることに、申し訳なさや後ろめたさを感じなくてもいい社会。	ママ	40代	1人	0～2歳	育休中
仕事や私生活が両立できる社会	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている（フルタイム）
ワーキングマザーなので、とにかく働きやすいこと。 子どもが大きくなった時、鍵っ子になっても困らないように環境を整えるのが親の勤めだと思うが、万が一の時に職場、家族の協力が得やすいこと。 また地域で子どもを育てるという意識（浜松はその意識が高い方だと思う）	パパ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
医療や教育、みんなが平等に受けられる社会	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	専業主婦（夫）
将来性が大いにある社会です。子どもが未来に向かって、技術的にも精神的にも成長していきたいと思える世の中でなければ、将来の日本の成長も、無いに等しいです。子ども達が希望の持てる社会人になりたいと頑張るなら、大人は子どもをサポートする立場にあるので、子どもと一緒に未来に進めるのだと思います。そしてそれが、子育て頑張るぞ！に繋がって、大人達も生き甲斐や気力を持って生きられるのではと思います。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦（夫）
ある程度将来のお金の心配がなく、子供を産み育てることができる社会。また突発的な時にでも、子供を見てもらえる環境が整っている社会。	ママ	30代	2人	0～2歳 小学生	専業主婦（夫）
子育てをするのに金銭的に負担がかからない。 どの世帯にも公平な政策。(税負担に差がない)	パパ	30代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
お金の困らない。 時間に困らない。 精神的に困らない。 子供に対して危険(悪影響)が少ない。 子供が学びやすい。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
助け合える社会。必要なときに、必要な保育だけでなく、その後の小学生以降も必要なサービスが受けられる世の中だと思う。浜松市は全然出来ていない。幸福感が得られず、必要なサービスが受けられない浜松で子育てがしたいと思うか？いや、思わない。浜松は政令指定都市なのに、全然サービスが行き届いていない。	ママ	30代	4人	0～2歳 3～5歳 小学生	働いている（フルタイム）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
前回の公立幼稚園のパブリックコメントにもあったが、なぜ山間部で保育園や幼稚園を閉園させてしまうのだろうか、そこに若い世代が入って欲しいなら、自分の子どもが行く園がないのに、移住しようと思うだろうか？ 私は思わない。					
安心、安全。 いろいろな人とつながっている。 みんなでサポートする。 経済的な不安がない PTA や子ども会など、時代にあったものへと変化 子どもたちに気持ちと時間に余裕がある。 子どもたちがいきいきしている。	ママ	30代	2人	3～5歳 小学生	働いている（フルタイム）
3人以上生んでも、驚かれない社会。	ママ	40代	4人	3～5歳 小学生	専業主婦（夫）
誰もが子育てへのお金の不安を払拭でき、子育てしやすい社会。兵庫県明石市みたいな環境を整えること。国や地域が子育てにもっとも協力すること。	パパ	20代以下	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
子を育てる、となったときに金銭の負担が著しく増加しない社会。 オムツ代、ミルク代、離乳食代、保育園代など人を1人養うのにお金がかかりすぎる。（出産費用等も出費としては大きい、それよりもランニングコストの方がダメージが大きい） 少しでも負担が減ればもっと子育てしやすくなるのになあと感じる。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
子供がいること？白い目で見られる社会ではなくなる事だと思います、	ママ	40代	2人	3～5歳 小学生	働いている（パート・アルバイト）
共働きでないと家計的に苦しいのが、現状のように思うところがある。ただ、共働きだと子供ができたときに誰が見るのかという問題がある。妻も会社をやめて在宅勤務ができる仕事に切替えて、現在勉強しているところ。今後 ICT に関わる仕事の拡充や教育支援を進めて頂き、子供の面倒が家庭内で見れる社会が良いと思う。	パパ	30代	0人		働いている（フルタイム）
子どもだけでなく産み育てる親も大切にされる社会 あんな大変な思いして産んで毎日育ててるんだからもっと敬われてもいい 子どもが大人になるまでお金の不安がない 支援がもっと充実している（浜松市は磐田市に比べてぜんぜん支援が足りない）	ママ	30代	0人	0～2歳	育休中
ずっとこの質問して前に進めてないのが おかしいです。もう議論することより 次の課題に気づくべきだし気づいてほしいです。 この問題を提起することでやった気になって	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（自営・フリーランス）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
アンケートまとめてるだけだから変わらないんです。 毎回同じことずっと聞いてますよ。					
生活がしやすい。 経済的、仕事、家庭のバランス	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
援助だけではなく、自由にのびのびと子供たちが育つ社会が良いと思います。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（パート・アルバイト）
母親が心に余裕を持って子育てできる事。 子供が小さい時には無料や低額で遊べる場所がある。 母親の仕事量が少なくても、家計が安心できる。	ママ	40代	3人	0～2歳 小学生	働いている（フルタイム）
お金と人手に余裕がある、休みが取りやすい	ママ	30代	3人	妊娠中 0～2歳 3～5歳	働いている（パート・アルバイト）
子供と仕事のバランスが取れる社会。 子供がいることが当たり前な風景がこの社会には少なすぎる印象です。	パパ	30代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
子育てには時間もお金も必要だという事を、他の世代の人にも理解し協力してくれる社会。 社会には自分の子供だけでなく他人の子供も宝だという考え方を持ってほしい。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている（フルタイム）
おむつ代など育児用品に対する補助金がある。	ママ	20代以下	2人	0～2歳	育休中
父親、母親が笑顔で子育てしている。	その他	50代以上	2人	高校生	働いている（パート・アルバイト）
子供の泣き声を気にしながらバスや電車に乗れる。 学校などの子供の施設にうるさいなどの苦情がない。 大人が苦情を気にして子供に制限をしない。	ママ	30代	1人	小学生	働いている（フルタイム）
子供に関する施設の拡充やいろいろな手当を貰えるのはもちろんありがたいと思うが、最近では若い世代の子供離れもそうだが親や祖母世代など全世代において子供に寛容でない人が多いと思う。 例えば道路にはみ出して遊んだりよその家の敷地まで入り込んで遊ぶ、公共の場で度を超えて騒ぐなどは親も注意しなければいけないし自分も迷惑だと思うことは多々あるが、普通に公園で遊んだり保育園や学校などの声や音がうるさいとクレームをつけるのは違うと思う。	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
あとは身近なことと言えばもっと授乳スペースやオムツ交換台などがいろいろな場所にあれば赤ちゃん連れの人でも外出しやすい環境になると思う。					
保護者にお金や心に余裕があって、どの子にとっても最低限の教育が受けられる環境	ママ	20代以下	1人	妊娠中	働いている（フルタイム）
仕事と家庭の両立に理解のある職場 教育費の無償化（減額化）	ママ	20代以下	1人	妊娠中	働いている（フルタイム）
子供を産む前と同等の安定した雇用で子育てと仕事の両立が行えること。 復職しても両立が大変で、保育料も高いのもあり離職する事例も多いので働く環境が整っていて子育てできるならもう一人産もうと考える人もいると思う。 経済的理由で本当は3人欲しいけど、無理だからと子供の人数を決めている人ばかりですよ。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
子どもが未来に希望を持てる社会。 今のままでは将来が不安すぎる。 「子育て」世代ばかりの問題ではなく、「誰もが」生きやすい社会になれば、おのずと子育てしやすい社会になるのではないか。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦（夫）
地域の皆が子育てに参加してくれる社会 行政サービスがしっかりしていて 母親と父親以外に子供にとって頼れる存在がある環境	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（自営・フリーランス）
子育て世帯、そうでない人関わらず、経済が潤っている社会。 値上げや増税ばかりで生活が苦しい状態の人が多く誰も気持ちに余裕が持てず、手当を受けている子育て世帯への僻み等にも繋がると思う。 もっと国民のために税金を有効に使って欲しい。 国会議員ってそんな人数必要ですか？	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中
お金と時間に余裕があり、子供に向き合える 社会が優しく子供の成長を見守ってくれる	ママ	30代	1人	妊娠中	働いている（フルタイム）
子どもがいる人が働きやすい、休みが取りやすい、子どもがいることで金銭的にも社会的にも優遇される社会。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
必要な時は子どもを自由に預けることができたり、子どもの病気などで仕事を休む時に、気にしなくていい環境。 頼れる人が身内以外にも居る社会。	ママ	40代	1人	0～2歳	育休中

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
<p>お互いの立場に思いを馳せて尊重できる社会。</p> <p>女ばかりが、不妊治療であれば仕事も休み、妊娠中に辛い思いして死ぬ思いで出産し、その後の育児も担う上に、働けと言われる。</p> <p>男性は、その現実を同じレベルで理解してほしい。</p> <p>父親が母親と同じ思いでも、勤め先の理解がなければ、休むことも早く帰ることも実現できないので、社会全体で育児に理解があればいいのと思います。</p>					
<p>休暇がとりやすく周りの理解</p>	ママ	30代	4人	<p>3～5歳</p> <p>小学生</p> <p>中学生</p> <p>高校生</p>	働いている（フルタイム）
<p>教育費、給食代などが義務教育時は無料。高校まで給食を提供する。子供たちが平等に教育と食事を得られる環境をつくること。</p>	ママ	30代	3人	<p>3～5歳</p> <p>小学生</p>	働いている（フルタイム）
<p>家族それぞれが子育てに協力できる環境になること。家庭内で子育てに関わる人が増えれば、子育てに理解のある社会全体になっていくのではないか。</p> <p>子育てや子どもの健康について、気軽に相談できる環境。</p>	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中
<p>保育園や学童の待機などなく利用できること</p> <p>また保育料や学童費の軽減</p> <p>子供医療費のサポート等の子育て支援の充実を願います</p>	ママ	30代	3人	<p>0～2歳</p> <p>3～5歳</p> <p>小学生</p>	働いている（フルタイム）
<p>消費税や色々な税がそんなに高くない事。</p> <p>無駄な国会議員の数を減らす。その人らの給料は税金なので減らす事により、国民が負担する税金を大幅に減らし、暮らしやすくなると思います。無駄な外国のお金のばらまきも中止して欲しい</p>	ママ	30代	1人	妊娠中	専業主婦（夫）
<p>お金の心配がなく、周囲が子育て・子供に寛容で理解がある社会</p>	ママ	30代	2人	<p>0～2歳</p> <p>3～5歳</p>	専業主婦（夫）
<p>妊娠、出産、育児に関する正確な情報を入手する機会が沢山あること。困った時に共に考え叱咤激励してくれる存在がいること。</p> <p>助産師がもっと活躍できる社会</p>	その他	50代以上	2人		働いている（フルタイム）
<p>老若男女みんなが子育てに関わってくれる社会。困っていたら自然と周囲の人が助けてくれる関係が築けるよう、子育て中の私たちの態度も気をつけたいといけないと思う。こどもの誕生を心から喜べる温かい社会にするためには、希薄なっている地域や人同士のコミュニケーションがもっと密になったらいいと思う。</p>	ママ	30代	2人	<p>0～2歳</p> <p>3～5歳</p>	働いている（フルタイム）
<p>とにかくお金がかかるので、お金の心配がなくなること。</p> <p>お金の余裕があれば気持ちのようにもなる。</p>	ママ	30代	2人	0～2歳	専業主婦（夫）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
お金に余裕がある。 世間の目が温かい。 頼れる人が近くにいる、または頼れるサービスが充実している	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
子どもが体調を崩した時、夫婦のどちらかが仕事を負目なく休める社会。	パパ	30代	2人	3～5歳 小学生	働いている(フルタイム)
産後ケア施設の充実。地域のつながりを作れる場の充実化。子育て支援施設や同世代の子を育てる親同士の繋がりを作れる場がほしい。子供向けイベントや子供が安心して遊べる施設がほしい。仕事との両立。学童保育の充実。	ママ	30代	1人	妊娠中 3～5歳	働いている(フルタイム)
子ども関連の消費に、課税(消費税)しない社会。 保育園落ちた、を味わわなくて良い社会。←これがなかったらもう一人考えられた。 ブラック企業撲滅。ワークライフバランスがある社会。 忙しい人は、休みの前日の夜になって、ようやく、明日何しよう、休みたいけど子どもと何して遊ぼうと思考する。	パパ	40代	1人	小学生	働いている(フルタイム)
みんなが暮らしやすく幸福を感じれる社会であれば、互いに余裕ができて子育て世帯にも温かい社会になると思う。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
少子高齢化が社会保障にあたる影響を子育て世帯以外が周知している	ママ	30代	2人	妊娠中	働いている (パート・アルバイト)
公共の場でも子供を安心して連れ歩ける安全な環境が整っている社会。	ママ	30代	2人	3～5歳 小学生	働いている (パート・アルバイト)
子どもの声をうるさいと思わない。 思わないように、大人の心も余裕が持てる社会。 コミュニケーションが大事だと思う。	その他	50代以上	0人		働いている(フルタイム)
子供を一人育てるのに、お金がかかりすぎる。特に今の時代、大学まで出た方が……という考え方が多いが、特に私立大学の学費が高すぎると感じる。物価も上昇し、女性も仕事をしながら家庭の事もやらないといけないという現実。消費税がこれ以上上がるのも問題である。	ママ	40代	2人	小学生	働いている (パート・アルバイト)
教育にお金がかかるので負担が少ないことや所得税の控除などして子どもを産むとプラスになると思える社会になると嬉しい。 また、お金がかかるから仕事をしたいが子どものことを考えるとなかなか仕事が出来にくいのでもっと預かってもらえる所を増やして欲しいし、増やせないのであれば、幼稚園や小学校が行っている間にできる仕事やそれに理解してくれる会社が増えてくれると嬉しい。	ママ	30代	2人	3～5歳	専業主婦 (夫)

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
子どもが（子どもと）いることが幸せと感じる社会。	ママ	40代	1人	小学生	働いている（フルタイム）
子育てに理解のある社会。 子育て中の人達が必要としているものが充実してある社会だと思います。	ママ	20代以下	2人	妊娠中 0～2歳	働いている（フルタイム）
子育て世代以外の人からの理解	パパ	40代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている（フルタイム）
子どもの泣き声をうるさいと思わずに受け入れてくれる社会。 希望の産婦人科に通い、希望の出産ができるよう、医療体制が整った社会。 保育園、学童が充実した社会。 急な欠勤にも寛容な社会。 子どもを産み育てることに躊躇しないような経済的安定のある社会。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている （自営・フリーランス）
こどもがいて当たり前。こどもが存在することを誰もが受け入れ、子育てを応援する、一緒に子育てするつもりで接する社会であること。	ママ	50代以上	4人	高校生	働いている （パート・アルバイト）
地域社会がみんなで子育てに関わる社会。理想は、中学生までは地域で斜めのつながりを持ち、みんな顔見知り、あいさつし合う関係に。地域の学校に地域の人が出入りしたり、母親父親が孤独にならないように声かけし合える。 登下校のパトロールや交通安全見守り隊、図書ボランティア、課外活動講師、子ども食堂、地域行事などを、義務感ではなく積極的に楽しくできる社会になれば。	ママ	50代以上	2人	高校生	働いている（フルタイム）
今子供が居る人、これから子を持つ人として居る人、興味が無かったり育てきれそうなくて持たない人、仕事や社会が安定してから持ちたい人、それぞれの意思が尊重される社会。 今は皆余裕が持てない状態で悪循環に陥っている為、政府は前向きになれるような社会作りをしていかなければならないと思う。 後は子供を作れない年寄りの優遇を止め、健康な子供を作れる若い世代を心身共に豊かにしなければならぬ。その為には金銭的余裕による生活の質と教育の質を上げるべきだが、今の政府を見てるとかなりの年月がかかりそうで悲しい…。 できれば自然と良いニュースが増え、皆が健康かつ安心して暮らしていける社会が望ましいです。	その他	20代以下	0人		働いている（フルタイム）
こどもが将来に希望を持てるなど実感できる社会。 （こども自身の心と身体の安全や豊かさ、それを取り囲む人々全体の豊かさが保証されている社会）	ママ	30代	1人		専業主婦 （夫）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
親がまず子供の関われる時間をもてること。 働けど、生活は楽にはならず時間も無い。 明石市のような市が、日本の政治力でなったらいいなと思う。	ママ	30代	3人	3～5歳 小学生	働いている（フルタイム）
第1子が障がいを持っていますが、小学校の進学先がもっとインクルーシブであってほしいです。支援学校だけでなく、通常学級にも所属しながら専門の支援や学習が受けられるといいなと思います。会社の中でも色々な家庭の事情がありながらも働ける人が増えているように思いますが、もっと柔軟になっていくと助かります。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている（フルタイム）
子育てしやすい社会に生きたことがないのでわからないのですが、現状の日本ではないと思います。	ママ	30代	1人	小学生	専業主婦（夫）
仕事を休みやすい社会	その他	40代	0人		働いている（フルタイム）
家族だけでなく、周囲の人の協力を得ることができ、社会全体が子育てに理解のある社会であると、子育てしながら仕事もしやすくなり、第2子、第3子も産みやすくなると思います。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
子育てに理解のある職場	パパ	20代以下	2人	妊娠中 0～2歳	働いている（フルタイム）
待機児童問題 子供の体調不良による早退、休みなどの会社の理解 現金支給の増額	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（パート・アルバイト）
お金の不安がなく、家や公共施設で子供と過ごす時間をもてることです。	ママ	30代	1人	3～5歳	働いている（フルタイム）
社会で協力的な環境がいいと思う。	ママ	30代	1人	妊娠中	働いている（フルタイム）
子連れオッケーの会社や、施設等が増えて欲しい 電車なども赤ちゃん専用列車など、あるといい	ママ	20代以下	2人	0～2歳 小学生	専業主婦（夫）
女性に働き、産め、育てると何でも押し付けずに産んだら働けなくなることを、育てるために働けなくなることを前提とした子育て世代に必要な経費を全額保障する社会	ママ	30代	2人	0～2歳 小学生	働いている（フルタイム）
やりがいを感じる就労であるが、子育てを優先する仕事量であり、サポートが整っていること。子どもは病気もする！学校行事もある！・・・母親だけでなく父親も対応できる体制を！若い父親は子育てに参加したいと思っている人も多い。	祖母	50代以上	2人		働いている（フルタイム）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
それをあまり歓迎しないのは、母親に子育てを押し付けてきた上司である。 子どものためならその社員の仕事を軽減してやれるような方が管理職になるべき。 保育施設は大切なお子さんを預かってくれる。働いている方の処遇を改善し、いきいきと働ける環境を整えていかないと働く人はいなくなり、保育施設は減少します。生む人、育てる人、預かる人みんなが子育てに喜びを感じる社会。					
・近所、職場、病院などに、だれでもどこにでも、すぐに相談できる社会	その他	30代	0人		働いている（フルタイム）
気持ち（お金、時間、仕事）に無理なく、余裕をもって子育てできる社会。	ママ	40代	2人	3～5歳 小学生	働いている（パート・アルバイト）
子育てにお金のかからない仕組みと対策です！！ まずはこれを考えて欲しい。それがあれば、保育園の待機児童や、家庭の子供の人数における支援援助額の問題、その基準問題、母子家庭の経済的な問題や、アンフェアさ、などが解決していきます。 フルタイムだとなんか損する???と思わないしくみ作りも大切ではないでしょうか？	ママ	40代	1人	中学生	働いている（フルタイム）
子育ては人間にとって最も重要なことであるとし、社会の様々な人が自分事として命を繋いでいくことにかかわり合う社会。	ママ	30代	1人	小学生	働いている（自営・フリーランス）
子育て世代に優しい社会。 金額面での心配もなく、子どもたちが安心して遊べる場所が沢山ある。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている（フルタイム）
子育てしたい人が妊娠前（不妊治療等）？出産後（育休手当の拡充、大学等の学費の全額無償化）まで、経済的な格差なく子育て出来る社会。 子育てに関する社会インフラが充実し、孤立することなく子育てを応援してもらえる社会。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	育休中
子どもが遊んだり過ごせる場所や環境の増設。 行政機関や公共交通機関などでの優先。 子どもが賑やかすることに対する反応。	ママ	30代	3人	0～2歳 小学生	働いている（パート・アルバイト）
安い値段で広い家、または広い部屋に住めること。 子どもがいる、いない、病気を持っている、持っていないなどに関わらず、男性も女性も全ての人が生きやすい社会こそ、子育てしやすいのではないかと思う。	その他	20代以下	0人	0～2歳	働いている（パート・アルバイト）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母に頼れない人などが気軽に子供を預けられる施設があること。利用したい時に利用できない、形だけの制度はいらない。 ・小学校の学童が長期休みだけでも利用できること ・父親側の会社の子育て理解があること(残業減、母親だけでなく父親も突発的な休みや早退をとりやすくなること) ・PTA などの活動の母親の負担軽減 ・頑張れば頑張っただけ報われる社会?所得制限の撤廃 	ママ	30代	2人	0~2歳 3~5歳	専業主婦(夫)
女性に負担が少ない社会。 負担が大きければ子育てしようと思えません。	ママ	30代	2人	3~5歳 小学生	働いている(フルタイム)
浜松市における土日祝に利用できる児童館が少なく感じる。 こういう声をすぐに働きかける体制が薄いと感じる	ママ	20代以下	1人	0~2歳	働いている(フルタイム)
子育ての経済的負担が少ないことや働く際にすぐに預け先がある社会。	ママ	20代以下	1人	0~2歳	育休中
子供にかかる費用の無償化と現金給付が潤沢な社会。 浜松市は様々な取り組みをしている。 しかし、現在子供のいる世代にとってはありがたいが、子供を産もうとまでは思えない。産んでからこんな優遇があったのかと知るレベル。 子供を産もうと思う一番は「お金の安心とメリット」です。 わかりやすい対策である無償化、現金給付を大規模に、日本一の規模で実施してもらいたいです。岸田首相には失望しましたが、浜松市の新市長中野さんには期待していますので行動してもらえると嬉しいです。	パパ	30代	1人	0~2歳	働いている(フルタイム)
誰もが生きやすい社会が子育てのしやすい社会だと思います。祖父母が子育てをしている家庭、養子縁組をして親子になった家族、父親の立場である人が女性である家庭、発達障害をもちながらも家族をもった方々…家庭の形が様々な今、「子育て」だけに目を向けず、様々な立場の人が「当たり前」に社会に受け入れられる社会になってくれればと思います。	ママ	30代	1人	0~2歳	育休中
経済的な安定 公共の子育て支援事業の豊富さ 子育てに対する周りの理解 犯罪が起きない安全性	ママ	30代	1人	0~2歳	育休中
お金に困らず子育てができる社会。	ママ	20代以下	1人	0~2歳	育休中
子育て世帯や若者世代が手当等を受け取ることを「ずるい」という一部の意見ばかりを聞くのではなく、必要な対策を考えて寛容に対応できる社会	ママ	30代	2人	0~2歳 3~5歳	育休中

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
ジェンダーギャップが少なく、性差による社会的役割分担意識を変えて全ての親が当事者として子育てに取り組む社会。 また、そのためには雇用や、キャリアについても男女平等でなければならず、子育てしやすい社会という側面だけで、当事者以外は変わらなくていいのではなく、雇用環境含めて大きく変換しなければならない	パパ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
仕事と子育てが両立しやすく、負担が少ない生活ができる社会だと思います。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
お金に不安がない社会	ママ	20代以下	1人	妊娠中	育休中
母親、父親だけでなく、地域の人も子供たちと触れ合える機会の多い社会。	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中
一人ぼっちで子育てしない社会。公共施設で子供が泣いてもうるさいと言われない社会。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	育休中
世間の理解、協力、制度が整い、それらをいつでも気軽に利用できる社会。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
子供だけじゃなくて、他人に対する寛容さがある社会。 余裕がないと他人に優しくできないから、余裕のある社会とも言えると思う。	ママ	30代	2人	0～2歳	働いている （自営・フリーランス）
治安がいいこと	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	育休中
日常的にどこでも子供と行けるような社会… 例えば食事に行く時、小さい子供がいるとお手洗いに子供用ベッドがあるのか、子どもが食事できるような環境なのか等、当たり前だけど気を回さないといけない ある一定以上の規模のお店には設置を義務付けるとか、認証マークみたいな物をつけるとか 子供がいるから…ここは無理だな…と大人たちが我慢することが減れば育てやすい 預けることをしなくてもパパママ自身が日常生活を送りやすい社会になればいいのに…	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている （パート・アルバイト）
子育てしている人も、そうでない人も、みんなが大切にされる社会。	ママ	30代	3人	妊娠中 0～2歳 3～5歳	働いている（フルタイム）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
子育てへの理解がある社会。 子供がいるだけで叩かれることもある世の中はダメ。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている (パート・アルバイト)
昔ながらの考えではなく、何かあればすぐに帰らせてくれる会社の雰囲気、物価や税が下がり気持ちの余裕ができれば子育てしやすいと思う。 あとは待機児童問題がなくなること。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
働きたい人は働けばいいけど、一馬力じゃとても生活できなくて働いてるような社会はダメ。	ママ	40代	1人	小学生	働いている (フルタイム)
子供がいる家庭に対して、お金の負担が少ない社会。 子供が遊べるような施設や公園などが近くにある環境。 子供がいる家庭は残業0。それでいて、文句も言われないような社会。 男性の育休がなんの躊躇いもなくとれるような社会。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている (フルタイム)